

JID NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

1982 1

昭和57～58年度役員選挙について

—選挙管理委員長 工藤 広忠—

・はじめに

昭和56年12月10日、標記の選挙の開票が本部会議室においておこなわれましたが、今回も投票は前回にひきつづいて、切日を待たずに過半数を超え、さらに全投票数も前回を上回ること14票の223票となり投票率は57%に達しました。

これは、偏に会員諸賢の絶大なるご協力の結果に他ならず、誠に喜ばしいことであります。厚くお礼申上げる次第です。

今回は、さらに向上することを念願するものです。

開票の状況は次のとおりです。

① 選挙管理委員（50音順）

委員長 工藤広忠

委員 ・坂山正一 ・馬場 敏 ・松岡和吉
・宮島恵美子 ・脇田正彦（以下準会員）
・伊藤公子 ・鹿児島美枝（事務局）

（注）・印欠席

② 開票の結果

開票は出席委員6名によっておこなわれ、次のとおり当選者が決定しました。

目 次

● 昭和57～58年度役員選挙について	1
● IFI総会とヘルシンキ国際会議の報告会	3
● ブロック別デザイン会議	3
● 誌上賀詞交歓会	4
● 謹賀新年の賀状より	6
● 日本デザイン団体協議会新春交礼会	6
● 「東京を美しくする会」発足	7
● JID会員のための専門家案内	7
● サンフランシスコ便り（その3）	8
● 会員の消息	8
● 会員の移動	9
● 事務局短信	10

イ. 理 事

・関東事業支部（定数10名）

（カッコ内数字は前回の得票数）

当選 三輪 正弘 107票 （83）
 " 中村 圭介 102 " （93）
 " 泉 修二 77 " （101）
 " 山品 元 74 " （49）
 " 島崎 信 63 " （66）
 " 渡辺 優 61 " （71）
 " 木村戦太郎 57 " （79）
 " 森谷 延周 56 " （71）
 " 尾上 孝一 54 " （54）
 " 川上 信二 53 " （36）
 次点 垂見 健三 53 " （101）

・関西事業支部（定数3名）

当選 川崎 浩 70票 （53）
 " 樋口 治 57 " （33）
 " 富田 卓司 55 " （48）
 次点 柏原 秀夫 30 "

・九州事業支部（定数1名）

当選 中川 千年 63票 （18）
 次点 坂本 康四 11 " （48）

・中部事業支部（定数1名）

当選 宇賀 敏夫 63票 （17）
 次点 松本 政雄 19 " （24）

㊦ 垂見健三氏は、役員選挙規定第8条第2項によって
 次点とした。

ロ. 監 事（定数 関東1名、関西、九州、中部として 1名）

・関 東

当選 渡辺 力 48票 （36）
 次点 狩野 雄一 14 "

・関西、九州、中部

当選 岡村 実 21票 （11）
 次点 柏原 秀夫 5 "
 （ " 松本 政雄） 4 "

㊦ 柏原秀夫氏は理事の次点者につき、念のため松本政
 雄氏を併記した。

なお、参考として、理事選挙における10票以上の得

票者を記載します。

◎印は前または元理事であった方です。（50音順）

・関東事業支部

秋山修治(13) 今崎 努(18) 内堀繁生(14)
 ◎榎田 均(35) 大野美代子(16) 加藤帛子(14)
 ◎狩野雄一(22) ◎川上玲子(34)
 ◎小原二郎(13) ◎坂田種男(15)
 ◎白石勝彦(49) 関口正巳(19) 田中聡行(19)
 田辺麗子(30) ◎長 大作(50) ◎長岡貞夫(42)
 中田重克(37) 西沢圭三(36) 原 好輝(21)
 福田友美(12) ◎松本哲夫(30) 光藤俊夫(33)
 ◎山口勇次郎(43) 山本棟子(12)
 わたなべひろこ(11) ◎渡辺 力(25)

・関西事業支部

◎岡村 実(10) 喜多俊之(22) 中村隆一(23)
 並川拓史(23) 野口 茂(12) 福岡喜久雄(10)
 村尾 栄(11) 安永一典(11) 山内陸平(23)

・中部事業支部

林 寅正(12)

なお、監事の次点以下では関東事業支部の白石勝彦氏、
 山口勇次郎氏とともに13票の得票でした。〈九州支部〉
 は該当者がいない為、記しません。

㊦ この表は、次回役員選挙に際してのよき参考資料
 と思われるので、念のため申し添えます。

ハ. 当選の内訳

	前	元	新	計
理 事	8	4	3	15
監 事	2	0	0	2

③ 感 想

- (1) 事務局長を監事に投票された向がありました。が、
 事務局長は職掌柄協会の財政、会計などの執行責任
 者なので監事には不適當です。
- (2) 今回の投票の結果では、女性の役員が不在になり
 ました。一考を要する問題と思います。
- (3) 事務局長が理事に当選されたことは、協会の運営
 上喜ばしいことと思います。
- (4) 投票は、あまりカタクならないで、たとえ一名で
 も確信のもてる人を投票されるようお願いしたいと

思います。今後とも棄権はさせていただきます。

(5) 当選された方は大方の期待に応えて、充分にその任を果されることを期待しております。

(6) 選挙方法について関西：佐々木桂会員より、海外会員の選挙権については在サンフランシスコ：清水忠男会員より、それぞれ貴重なご意見が寄せられました。今後の課題だと思います。

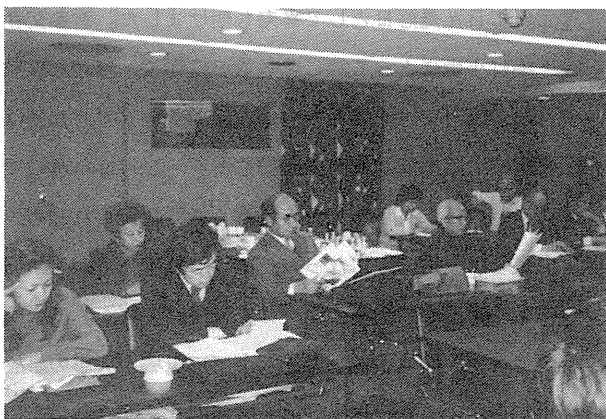
(7) 毎回のことですが、役員選挙に際して、委員ならびに事務局各位のご労苦に感謝します。

(関東：名誉会員)

IFI総会とヘルシンキ国際会議の報告会

8月3日～8日ヘルシンキでICOGRADA, ICSID, IFIの3国際デザイナー団体が協力して開いたDESIGN'81の会議およびわたくし達が加盟しているIFIの総会の報告会が渉外委員会により、12月11日、東京銀座TOTOホールで開かれました。

出席者は約30名でしたが会議参加の正会員、三輪・川上・渥美・島崎・白石・わたなべ(ひろこ)・大野の7名を代表し、総会については三輪理事長から「JIDの理事会のような親しい感じで、会費値上げ・賛助会員新設など財政問題が討議され理事会に付託されたこと、次回84年は西独ハンブルグと決まったこと「教育委員会については、島崎さんから「インテリアデザイナーの教育基準について、国際的な情報交換が進められていること」などが報告されました。



そのあと参加者5人のスライドが映写されました。

白石さんはアルバー・アアルト設計の会議場での「デザインの統合」についての模様とそのあとのファッション

ショーを録音入りで報告しました。

島崎さんは会期中に開かれた40余りの展覧会を、大野さんからはハンディキャップの人々のためのデザインを、三輪さんからはフィンランド・デンマークの建築を、わたなべさんからはボッコ、マリメッコなどのテキスタイルデザインなど、出席者それぞれの専門分野の目を通した報告だけに大変内容の濃いものでした。また、サンドイッチとビール、ワインを囲んでの交歓もあり、短い時間ながら楽しい一タとなりました。

(総務：中村圭介)

ブロック別デザイン会議

— 関東甲信越静岡ブロック —

上記の会議に出席いたしました。以下簡単に報告いたします。

日時 昭和56年12月9日(水) 13:30～17:00

場所 東京通産局 大手町合同庁舎 3号館

主催 東京通商産業局(出席者5～60名)

1. デザイン行政の現状について 検査デザイン課

1) デザイン行政について

2) デザインの啓蒙と普及

「省内デザイン化推進計画」「Gマーク」他

3) 中小企業等に対するデザイン開発指導

4) デザインの保全

5) 国際交流

「国際デザインコンペティション」他

2. 地方産業デザイン開発事業 財産振

3. 各都県市におけるデザイン振興施策について

各都県市担当課

4. 産地デザイン開発推進関係団体等の現状について

JID・JIDA他各開発推進団体の代表者

以上議題を列記したが、議事に対して時間が少なく、特に3、4では各代表の説明時間が数分で、駆足の説明となった。

5. 講演「地方におけるデザイン振興の進め方」

講師 森口以佐夫(ブレイン代表取締役)

・地方中堅企業の成功要因の変化

従来は、全ての面で問屋依存型企業が多かったが、最

近の成長型企业では、

品質：公設機関・大学等を利用し、自主開発能力を持っている。

情報：大都市消費者の情報をつかみ、製品デザインに生きている。

流通：大都市店舗をまず攻略し、それから逆に地方に流して行く。

・成功例 梅花紡績（タオルメーカー）

従来は、問屋を通しデパート等に流していた自社のアイデアを商品開発に生せないでいた。別会社「ホットマン」を作り、同名のパイロットショップを六本木に開店、現在47店舗となる。同ブランド商品は「ホットマン」ルートでのみ販売デパートへも。

・地方中堅企業は、大企業とは異なる志向を持って、大企業では出来ない商品アイテム、戦略で行くべきである。又、新ルートの開拓・情報サービス・生活情報誌等を巧みに操作してユーザーに「他には無い物」「希少価値」をイメージとして植え付けるべきである。

・ユーザー別講読誌

ヤング 「ポパイ」「ホットドッグ」

アダルト 「ブルータス」

女子短大生 「JJ（ニュートラ）」「キャンキャン」

大学高学年 「アンアン」「ノンノ」

キャリアウーマン 「クロワッサン」

ヤングミセス 「家庭画報」

都市カタログ情報誌として 「アングル」

（後記）

後演も含めて約5時間、体調が悪かった事もあり、疲れてしまった。議題をもう少し削って討議の時間をとり各代表の生の声が聞ける会議には出来ないのだろうか。

（関東：木村戦太郎）

誌上賀詞交歓会

・高田紀久枝（あけましておめでとうございます。新春交礼会の福引き景品を同封いたしました。会員の皆様によりしくお伝え下さい）

・岩瀬要三（新春交礼会には是非とも参加いたします。時節柄、皆様風邪を召しませぬ様お祈りいたします）

・三宅正郎（今年は新年のごあいさつが出来ませんが、交礼会で皆様にお会いできるのが楽しみです。本年もよろしく願い致します）

・西和インテリア㈱（日頃はご無沙汰いたしております。いつも会報や資料をご送付いただきありがとうございます。——肥田武）

・日本インテリア㈱（幾度もご連絡に預り大変恐縮でございます。新春交礼会は社用にて地方出張の予定があり欠席させていただきます）

・森田良夫（いつも欠席ばかりで申し訳ありません。何も会員らしいことをしていないので、ますます敷居が高くて、出にくくなります）

・小原二郎（新春交礼会のご案内をいただき有難うございました。当日は止むを得ない用件のため欠席させていただきました。ご盛会を祈っております）

・梶原敏生（あけましておめでとうございます。昨年の10月より三越本店より三越製作所に戻りました。今後ともよろしくお願い申し上げます）

・吉良ヒロノブ（本年もどうぞよろしくお願い致します）

・樋口 治（JIDの皆様の多幸、ご発展を祈ります）

・松本政雄（新しい年の始めの集いに参会できること、馬齢を加え乍ら喜んでおります）

・香川顕郎（新年お目出度うございます。私共の乗っかっている日本丸は行政改革が必要で、安上りする政府が望まれます。JIDも心を新たに、新しい年を漕ぎ出しましょう。皆様のご健闘を祈ります）

・石川四郎（明けましてお目出度うございます。お蔭様で元気に日々是好日として喜寿も明けました。新春交礼会々場は小生にとって誠に感無量の建物で、渡辺節設計事務所の設計で村野藤吾先生は大阪のチーフで、担当は須藤氏で大阪の日本綿業倶楽部をモダンにした感じで、その当時は第二次世界大戦の色濃く材料統制され初め、牛皮張りは使用禁止になった。当時、渡辺先生が「如何しても、闇でも談話室の家具は皮で張れ」等々。清水組（現清水建設株式会社）の施工半ばで現場が火事の事故を出す等々のことがあり、思い出は尽きません）

・加集喜雄（新年おめでとうございます。今年もよろしく願いします。皆様頑張って下さい）

・小坂希八郎（やりたいことをいくつかやり残したまま

旧年も暮れました。余裕をもって過せるようになるには未だ年期が足りないようです)

- 林英光 (今年もがんばりましょう)
- 村口峯子 (旧年中はお世話になりました)
- 榊天童木工 (厳しいと云う言葉を聞くことも多くなりました。正念場 — 1982年よろしくお願い申し上げます。 — 桜井久喜)
- 高島屋東京支店 (とりまく環境を見ても明るい材料が少ないが、戌年にあやかって、ワンステップ・ワンジャンプしたいと思います。今年もよろしくお願いいたします — 渋谷 貞)
- 渡辺雅晃 (新春交礼会には都合で出席できませんでした。会員諸兄のご活躍を祈念いたします)
- 渡辺安吉 (協会のますますのご発展を祈りあげます)
- 榊ニチベイ (新年あけましておめでとうございます — 金坂嗣堯)
- 穴山邦夫 (旧年中は大変ご厄介になりました。皆様のご活躍と、一層のご発展をお祈りいたします)
- 金子誠之助 ('82年の新春を迎えお目出度うございます。昨年はJ I D総会を関西で開いて頂き皆々様の元気な顔を拝見し、大変嬉しい一夜を過ごすことが出来ました。今年も、より充実した年になる様、頑張りたいと思いますので、宜敷くご指導をお願い致します。皆々様のご健康と活躍をお祈り致します)
- 見野健治 (年初、何かと雑務に追われております。皆様よろしくお願い申し上げます)
- 坂本康四 (J I Dの充実を祈ります)
- 木村慎一 (毎年の事ながら、新春交礼会は欠礼いたし、申訳ありません。本欄を利用させていただき、皆様に新年おめでとうのごあいさつを申し上げます)
- 清水正義 (種々ご案内をいただきながら、まだ一度も行事に参加出来ずにおり残念に思っておりますが、日常業務に追まわられている昨今です。もうしばらくすれば、多少の時間的余裕を持てるのでは、と頑張っております。会員の皆様方のご健勝をお祈りしております)
- 工藤広忠 (あけましておめでとうございます。本年も元気に活躍下さるよう祈り上げます。私、きわめて健康です。78才の青春を心ゆくまで味わおうと考えています)

- 木崎 卓 (新春交礼会は折角のご案内でしたが、丁度海外出張のため出席不能でした。新しい年、会員の方々のご清栄を誠によろこばしく存じています。今後ともよろしくお願い申し上げます)
- 林 寅正 (おめでとうございます。皆様本年もよろしく)
- 野口 茂 (新年おめでとうございます。東京の交礼会には是非一度出席をして見たいと思っておりますが、それだけで東上するのも……と思い、何時も断念しています。皆様方よいお歳をお迎えになったと思います。協会の益々の発展を祈ります)
- 土屋晃一 (いつもご案内いただき有難うございます。所用があり、本年は新春交礼会欠席いたしました。皆様よろしくお願い申し上げます)
- 志波 茂 (今年は充実した年になります様にならばと思います。私にとっても日本にも大事な転換の時、この峠をうまく乗りこなしたいものです)
- 奥宮 守 (1981年は入会を許され、1982年には老骨に鞭打って何かを形にしたいと夢見ています。何卒厚いご交誼を下さいます様、お願い申し上げます)
- 山本峯秀 (今年もどうぞよろしく)
- わたなべひろこ (あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。1月20の交礼会は学校の方と重なり残念なことを致しました)
- 玉置勇一 (謹賀新年。皆様様のご健康を祈り上げます)
- 橘 悟 (新年の交礼会は残念ながら私1月11日より2週間程出張になり出席できませんでした。皆様お揃いで良いお正月をお迎えのことと存じます)
- 中川千年 (新年おめでとうございます。会員諸兄の一層のご活躍の年になるよう祈念します)
- 平井美蔓 (本年もよろしくお願い致します)
- 竹内嶺生 (本年もどうぞよろしくお願い致します)
- 加藤昌一 (いつも行事のご通知を頂き乍ら、そのご期待にも沿えず申訳ないと存じております。年輩とは云え、長年に亘る持病もあり、自重しておりますので、其の点ご諒承下さいますよう。1982年を迎え、皆様のご健康と、ご活躍を期待しております)
- 渡辺 優 (出張予定と重なり、今年の新春交礼会は出席できませんでした。会員の皆様にとって新しい年がよ

い年となりますよう)

- ・ 鈴木恭二郎 (役員の方々始め、皆々様の益々のご健勝を祈り、本年もよろしくお願い致します)
- ・ 本多正之 (おめでとうございます。皆々様の一層のご活躍を祈ります)
- ・ 高木茂雄 (新春を迎え、会員諸兄各位のご健勝を祈り上げます)
- ・ 小川欣一 (明けましておめでとうございます)
- ・ 川崎 浩 (一年間お世話様でした。よい年でありますように)
- ・ 横田真利 (平常の不沙汰をお許し下さい。皆々様のますますのご発展を心から祈り上げております)
- ・ 寺内万佐由 (都合がつかず、新春交礼会は失礼いたしました。本年も皆様よろしく願ひいたします)
- ・ 嶋 佐知子 (あけましておめでとうございます。皆様お揃いで佳き年を迎えられたことと存じあげます。今年は仕事をはじめて10年になります。去年は新築、増・改築、インテリア、のほかに、1月から通産省インテリア人材育成専門委員として、3月には現代の茶の間(ファミリー・ルーム)“ながら空間”展を銀座あり円画廊で、7月から9月にかけて米国西海岸の旅に、そして新しい仕事や人びととの出会いと、実り多い年でした。今年は更に忙しくなりそうですが、やはり地に足をつけて歩んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します)
- ・ 山田 晃 (明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願いします)
- ・ 内村 麗 (本年もよろしく御指導賜りたく願ひ申し上げます)
- ・ 諸富幸成 (旧年中は大変お世話様でした)
- ・ 岸根歳幸 (本年もよろしくお願い致します)
- ・ 塩田一夫 (誠に申し訳ありませんが、当日どうにも都合がつかせんで欠席させていただきます。残念ですが宣敷く願ひ申し上げます)
- ・ 溝口 新 (おめでとうございます。82'日本インテリアデザイナー協会の発展とご活躍を祈ります。九州事業支部も今年は作品展・永井コレクション展を秋に開催すべく企画しております。成功へ邁進したいと思ひます。会員諸兄の心からのご支援と御指導を願ひします)
- ・ 中沢ひろし (今年もよろしく願ひ申し上げます)

- ・ 杉富士雄 (新年おめでとうございます。本年もよろしく願ひ申し上げます)
- ・ 宮嶋恵美子 (新年おめでとうございます。本年もよろしく御指導下さいませ。協会の御発展をお祈り申し上げます)

(以上順不同。皆様お便りありがとうございました。紙面の都合で、一部文章を割愛させていただいた方があります。悪しからずご了承下さい)

謹賀新年の賀状より

多数の会員から、J I D本部へ年賀状が届いております。それぞれ心のこもったもので、事務局一同大変嬉しい思いをしております。以下の方々に誌上より厚く御礼申し上げます。

- ・大野美代子・高木茂雄・宮嶋恵美子・岩瀬要三・坂本鉄司(東陶機器)・稲田 昭・ホウトク・小長谷兵五(ヤマギワ)・高田紀久枝・肥田 武(西和インテリア)・天童木工・寺内万佐由・塩田一夫・矢留富三・杉本真二郎・中島研一・小川喜洋(岡村製作所)・剣持デザイン研究所・金坂嗣堯(ニチペイ)・清水 武・上田幸正・村山勝彦・吉田茂之(東陶機器)・稲垣紘一郎・白石勝彦・坂田守正・並川拓史・竹内嶺生・西沢圭三・嶋佐知子・町田宏子・川島織物・吉住一信・山本棟子・山永耕平・岩倉栄利・長堀映司・桂田 温・岡嶋敏弘・増本敏治・青島賢治・鐘ヶ江茂則・矢作彩子・藤村盛造・鈴木慶一・中里信正・内田次彦・新居 猛・岩田 勝・樋口 治・小原二郎・工藤広忠・村井輝男・林 寅正・桜井定雄・長谷川隆之・八代美智子・狩野雄一・諸富幸成・坂山正一・田村 悠・新川佐知子・高藪 昭・榎田 均・渋谷 貞(高島屋東京支店)・尾上孝一・中村圭介・鈴木栄二・加藤博之・浅田弘之・土屋晃一・安藤 孚・上辻謹一・溝口 新・牧野 滋・上野忠之・小柳朝一・村口映子

(以上順不同・敬称略)

日本デザイン団体協議会新春交礼会

恒例となった5団体(J I D, J I D A, J P D A, J C D A, J A G D A)による新春交礼会が、東京浜松町世

界貿易センタービル別館4F、(財)日本産業デザイン振興会のホールで開かれた。通産省から落田実検査デザイン課長をはじめ三戸、吉山、白山、稲山、安喰氏など。また日本産業デザイン振興会からは小林専務理事が出席した。5団体は当番団体のJIDA—寿美田理事長のほか、JID—三輪、JCDA—平松(代理、近藤)、JPDA—八尾、JAGDA—亀倉(代理、永井)等、各代表者の出席があった。華やかな乾杯発声の後、終始和やかに会は進行、交流を深めた。



出席者約80名の中、JIDからは理事を含む13名の出席が得られたのは喜ばしいことであった。閉会に当り、JIDから中村圭介さんが指名され、本年の健闘を祈って、参会者一同による気合いの入った手拍が行われ、8時すぎ散会した。(文中敬称略)

(関東：山品 元)

「東京を美しくする会」発足

デザイナーと建築家の団体が集って、12月22日、「東京を美しくする会」を発足させた。都市の建築物、看板、産業デザイン、店舗、公共物、その他もろもろの美しいものについてそれぞれのプロの立場から東京の景観について発言し、美観を回復して行こうというのが狙いである。JIDからは三輪理事長、川上渉外委員長、大野、中田両渉外委員のほか山品事務局長が出席した。第1回の会合でもあり、種々自由な角度からの意見を出した後、代表幹事に日本グラフィックデザイナー協会の亀倉雄策会長を選び、また各団体の長がそれぞれ幹事に就任することになった。

そして、今後時間をかけて粘り強く活動を続けて行くことが申し合わされた。翌23日には代表幹事と各団体からの幹事も出席して、日本プレスセンターで記者発表を行った。事務局は当面(株)GKインダストリアルデザイン研究所(東京都新宿区下落合2-19-16 電話03-950-0504 担当 藤本清春氏)内に置かれる。尚、発足準備会に参加した団体はJIDの他下記の通り。(順不同)

日本建築家協会、日本グラフィックデザイナー協会、日本インダストリアルデザイナー協会、日本サインデザイン協会。

また、席上日本店舗設計家協会、日本ディスプレイデザイン協会にも呼びかけることとなり、翌12月23日の発表は合計7団体となった。今後の活動は各団体とも専門委員を置くこととなろう。(事務局)

JID会員のための専門家案内

以下JIDの顧問をお願いしてある専門家の方々です。JID会員であることを明示して、ご相談下さい。

〈法律〉関係

顧問弁護士 宇都宮健児氏

佐藤法律事務所 電話(03)253-4221~2

〒101 東京都千代田区神田佐久間町1-14

第2東ビル701号

〈工業所有権〉関係

顧問弁理士 南 一清氏

南特許事務所 電話(03)294-0611~3

〒101 東京都千代田区内神田1-6-3

〈税務・経営〉関係

顧問税理士 山田 久男氏

山田経理事務所 電話(03)863-2200

〒103 東京都中央区日本橋浜町1-1-2

セブンスターマンション日本橋浜町702

〈経営相談・事務所設立〉関係

顧問経営コンサルタント 伊藤 正城氏

伊藤経営管理事務所 電話(03)425-0601

〒154 東京都世田谷区新町2-29-4

〈登記〉関係

顧問司法書士 湯川 旭氏

湯川事務所 電話(03) 461-6604

〒150 東京都渋谷区宇田川町 6-14

登記所前合同事務所内

サンフランシスコ便り (No. 4)

お元気におすごしのことと存じます。協会機関誌のために、また「便り」の形をとって原稿を書いてみました。お手数ながらよろしく御手配いただければ幸いに存じます。先に事務局長よりお手紙いただき御説明のあった、海外会員に選挙権が与えられない、という件は、会員としての権利と義務とが発揮できないわけで、残念に思いました。日本はこれからますます国際化して行かざるを得ませんからそれに伴って期間の長短を問わず海外に出かけるJID会員も増えるものと思われます。協会として海外との交流も増えて行くのではないのでしょうか。海外に在住する会員が、日本国内の会員と同じように活動することが要求されて行くべきだと思います。そのためには、会員としての扱いに差があってはならないはずですが、技術的な問題として解決できると確信しています。よろしく御検討いただけますようお願い申し上げます。

寒さに向かう折りから、御自愛のうえ、ますます御活躍下さいますよう。

(在サンフランシスコ：清水忠男)

付：上記の手紙は清水会員より昨冬11月26日付で事務局に寄せられたものを転載したものです。

会員の消息

- ・ 福岡喜久雄 (昨年8月に父が病死いたしましたため新年のご挨拶を遠慮させていただきました。なお、時節柄会員皆様の一層のご自愛をお祈り申し上げます)
- ・ 榎田 均 (昨年11月26日、㈱コスガ株主総会にて取締役デザイン部長を命ぜられました。これからも一層、JIDの皆様のご教示をお願い申し上げます)

- ・ 南原七郎 (昭和56年は早々1月に大阪で「グロピウス展」でパネルディスカッションにパネラーとして出席、又「日本のインテリアデザイン」に作品が掲載され、暮れには兵庫県産業情報センターの依頼にて「デザイン開発実態調査報告書」の完了、目下「兵庫県大百科事典」のデザイン部門の委員として活躍中です)
- ・ 町田宏子 ('81年は何となくあわただしい内に過ぎました。'82年はすこし落ちついて、と思っています。新春交礼会の1月20日頃は、ヨーロッパに出掛けていると思います。皆様楽しいひとときを。)
- ・ 柘植一毅 (腸のポリープの手術のため、昨秋10月14日、入院いたしました。10月23日手術完了。しかし手術後腹内に出血、再度開腹手術をするなどして体力を消耗してしまいました。その後、年末12月12日に退院しました。まだ、しばらくはブラブラして体力の回復に心掛け、年初から又、仕事にかかる予定です)
- ・ 式田 完 (昨年末の12月27日に事務所を下記に移転いたしました。
〒542 大阪市南区北炭屋町 11-2
ヒカリビル4階45号 ダイシンインテリアデザイン
電話 (06) 245-6340
- ・ 安藤 清 (年末に新社屋へ移転いたしました。お出掛け下さい。
〒460 名古屋市中区錦1-18-22
竹中工務店名古屋支店
電話 (052) 211-2111
- ・ 大内一雄 (56年2月、脳梗塞で倒れました。秋頃からならし運転をしています。本年もよろしくお願いします)
- ・ 岩倉栄利 (1月16日より20日まで東京デザイナーズスペースで「麿の世界 urushi・maro」を開きました)
- ・ 渡辺輝男 (あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。55年10月より下記の処で毎週土曜日コンサルティングをしております。(AM10:30~PM19:00) ぜひお出掛け下さい。
港区赤坂2-14-27 国際新赤坂ビル東館1F
電話 (03) 587-0395
㈱モーリショップ東京ショールーム(システムキッチン"クチャー"収納シュノール)

システムキッチンの御用命の節は是非クチャーを宜敷くお願い申し上げます)

●会員の移動

正 会 員

会 員 名	移 動 事 項	新
小 玉 靖 子 (関 東) P 56	自 宅	〒227 神奈川県横浜市緑区4-17 電話 045-983-5792
上 田 幸 正 (関 西) P 120	事 務 所 自 宅	Uインテリアデザイン事務所 〒747 山口県防府市天神2-1-51 こうとくビル2F 電話 0835-21-7322 電話 0835-23-1327
式 田 完 (関 西) P 128	事 務 所	ダイシン・インテリア・デザイン 〒542 大阪市南区北炭屋町11-2 ヒカリビル4F45号 電話 06-245-6340
安 藤 清 (中 部) P 161	勤 務 先	竹中工務店名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1-18-22 電話 052-211-2111
大 廣 保 行 (関 東) P 39	勤 務 先 自 宅	(株) 小田急百貨店インテリア部 輸入特選居間家具係 電話 03-342-1111 内線 2933 〒115 東京都北区赤羽2-2-2 スカイハイツ1110 電話 03-902-7505
小 坂 希 八 郎 (関 東) P 55	自 宅	神奈川県横浜市南区永田北3丁目8番8-202号 (住居表示変更)
山 中 玄 三 郎 (関 東)	事 務 所	(有) 山中デザイン研究所 〒248 神奈川県鎌倉市十二所863 電話 0467-23-1716

準 会 員

小 林 正 典 (関 東) P 176	事 務 所	(有) インテリア：サンライト 〒063 札幌市西区24軒4条3丁目 カルチュード札幌1F
田 中 伸 司 (関 東) P 178	自 宅	埼玉県所沢市並木3丁目1番地2-409 (住居表示変更)

住 江 織 物 (株) P 204	担 当 者 本 社	本部 細 井 一 夫 大阪市南区南船場3-11-20 (2月1日より住居表示変更)
(株) 高 島 屋 P 206	住 所	大阪市南区難波5-1-5 (2月1日より住居表示変更)

会 議

〔12月〕

16日 ワーキンググループ
17日 関東事業支部委員会
18日 ワーキンググループ

〔1月〕

14日 ワーキンググループ

〔予定〕

18日 事業委員会
20日 56・第5回理事会
〃 総務委員会
22日 ワーキンググループ

事務局短信

- ① 明けましておめでとうございます。北海道から九州まで、日本列島は快晴に恵まれたお正月だったと記憶しております。
- ② 年毎に会員諸兄からお便りが増加しています。本号はその特集号みたいになりました。一挙掲載です。
- ③ 一々ご返事を差し上げられず、誌上よりのご挨拶でお許し下さい。皆様益々のご発展をお祈りいたします。
- ④ 新春交礼会の出席者は今年も90人を超えそうです。100人の大台を超えるのも夢ではありません。
- ⑤ 今秋には九州支部で「作品展」が計画されると聞いております。本部でも協力することになるでしょう。
- ⑥ 教育関係に携わる会員諸兄はこれから一年で一番忙しい時期を迎えられることでしょう。ご自愛を祈ります。
- ⑦ 事務局も決算期を迎えます。多端の折、まことに恐縮ですが、年会費未納の方、大至急納入のアクションをとって下さい。
- (山品 元)

JID NEWS 1982/1

(日本インテリアデザイナー協会月報 1982年通巻第112号)

毎月1回発行 頒価250円

編集・社団法人日本インテリアデザイナー協会総務委員会

昭和57年1月25日発行

中村圭介・川野明・増本敏治・山田晃・山下礼子・

発行・社団法人日本インテリアデザイナー協会

高田紀久枝・杉富士雄・鈴木栄二・山品元・前原誠・

下島資子・佐藤勝・古谷悟嗣・藤川宏允(関西)

印刷所・広洋印刷株式会社

振 替・東京8-76389